

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県立千種高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒465-8507
名古屋市名東区社台2-206

E-mail : chikusa-ko@pref.aichi.lg.jp

Website : http://www.chigusa-h.aichi-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 427名 女子 664名 合計 1091名
 児童・生徒の年齢 15歳～17歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校は国際理解の推進を主なテーマに掲げ様々な企画を打ち出し展開してきました。

夏季休業中にはニュージーランドへの海外研修を実施し、国際理解のツールとしての英語の習得を促し、また現地の小学生、高校生、大学生などとの交流を通して異文化の考え方や感性に触れさせる機会を設定した。英語キャンプでは、英語を母語とする講師や留学生を迎え2泊3日の英語漬けの生活を体験させた。英語の自己紹介やゲーム仕立ての活動を通して英語に慣れ親しみ、講師の文化紹介で異文化への思いを膨らませ、寸劇作りとその発表で研修成果を披露させた。海外研修も英語キャンプも希望者を対象とした。

秋に行われる学校祭におけるクラステーマに、ESDが世界的な問題ととらえている人権、福祉、識字、貧困、平和などの課題を加えてもらった。依頼する時期が遅れ大きな成果はなかったが、今後も継続的にお願いしていきたい。

12月の国際理解講演会では、池間哲朗氏を講師に迎え、「日本人こそアジアに学んでほしい」という演題で講演をしていただいた。アジアでの児童労働の現状を報告しながら、人間として我々が目指すべきものは何かについて熱く語っていただいた。人権とは何か、国際協力とは何か等について生徒は深く考えさせられる機会となった。1・2年生は全員で、3年生と保護者は希望者とした。

1月には異文化講座を、1年生全員を対象にして実施した。10カ国から現地出身の講師を招き、様々な活動を通して文化紹介をしていただいた。生徒たちは自分が選んだ国の下調べをし、質問を用意して講演に臨んだ。講演後生徒はホームルームに戻り、それぞれ体験した文化の紹介を他のクラスメートにして10カ国の情報を共有した。

このほか家庭科で「食育」「環境」「ジェンダー」、保健体育科で「エイズ」「ジェンダー」、理科で「環境」、地歴公民で「開発」「紛争」「ジェンダー」「国際理解」「識字」「環境」などの課題を取り上げて生徒に考える機会を与えた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ インターアクトクラブの活動として実施 ）